

2010年度

科目名	日本文学史Ⅱ		
担当教員	東 典幸		
配当	教福2	コード	52390
開期	後期	講時	金曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	日本の小説の歴史。		
目的と概要	昭和時代から現在までの小説を中心に日本の近代文学史を学ぶ。		
成績評価法	試験、平常点。		
テキスト	プリントを配布。		
参考書	座談会昭和文学史 全6巻(集英社)		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
<p>大正の文豪</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小説のはじまりとおわり。夏目漱石「三四郎」、水村早苗「日本語が亡びるとき」。 2. 私小説の風土。志賀直哉「暗夜行路」、中村光夫「志賀直哉論」。 3. 耽美派、芸術至上主義。谷崎潤一郎「人魚の嘆き」、芥川龍之介「地獄変」。 <p>昭和戦前</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 新感覚派。横光利一「花園の思想」、川端康成「眠れる美女」。 5. プロレタリア文学。葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」、小林多喜二「一九二八年三月十五日」。 6. 転向文学。太宰治「人間失格」、中野重治「村の家」。 <p>昭和戦後</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 戦後派。野間宏「真空地帯」、三島由紀夫「憂国」。 8. 第三の新人。遠藤周作「沈黙」。 9. 戦後の終り。大江健三郎「万延元年のフットボール」ほか。 <p>ポストモダン昭和</p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 内向の世代。後藤明生「挟み撃ち」。 11. 物語の終り。村上春樹「1973年のピンボール」。 12. 物語の復権。中上健次「異族」。 <p>ポストモダン現在</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 山田詠美「ジェシーの背骨」「学問」。 14. 小川洋子「博士の愛した数式」。 15. 川上未映子「ちよっきん、なー」「戦争花嫁」。 			